

第 6 学年 国語科学習指導案

単元名 学級討論会をしよう

1. 目標

(1) 関心・意欲・態度

賛否が分かれる問題について、意見を発言したり、話し手の意見を的確に聞き取ったりして進んで討論しようとする。

(2) 伝え合う力

理由を挙げながら、考えたことや伝えたいことなどを的確に話すことができる。話し手の考えと自分の考えを比べながら聞くことができる。

(3) 教科としてのねらい

討論会の進行方法を理解し、討論に参加することができる。

2. 指導計画（全 7 時間 本時 6 / 7 時間）

第 1 次（ 2 時間） 討論という方法・形式について知り、学習の見通しをもつ。

第 2 次（ 3 時間） 討論会の計画を立て、準備することができる。

第 3 次（ 2 時間） 討論会をする。（本時 1 / 2 時間）

3. I C T 機器活用の意図

- ・視聴覚機器を使用することで児童が興味・関心を持って取り組むことができる。
- ・視聴覚機器を使用して資料を提示することによって、伝えたいことを明確に表現することができる。
- ・提示された資料を見ながら、聞くことにより発表者の意図をつかみやすくすることができる。

4. 本時の学習

(1) ねらい

- ・話し合い活動の中で、調べたことをもとにして、考えたことや伝えたいことなどを的確に話すことができる。(話す)
- ・話し手の考えと自分の考えを比べながら聞くことができる。(聞く)

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 評 価 基 準	準備物等
つかむ	1 パネルディスカッションの運営方法と本時のめあてについて確認する。 自分の立場をはっきりさせて、パネルディスカッションに参加しよう。	・話し合いが目的に沿って展開するために必要な視点を確認する。	・めあての掲示物
深める	2 パネルディスカッションを行う。 (1)発表者が発表を行う。 (2)発表が終了したら時間を取り、各自が自分の意見をまとめる。 (3)質問を交流する。 (4)司会者が質問を整理し、意見の相違点をまとめる。 (5)質問に対して発表者として意見をまとめ、回答する。 (6)全体で討議を行う。 (7)話し合いを受けて、意見の修正や補足などを話し合い、発表者がまとめた発表をする。 (8)全体として話し合いの意見をまとめる。	・司会者に助言をする。 ・OHC付プロジェクターを使って資料を提示させ、わかりやすく話させる。 ・ワークシートを用いてメモをとらせ、全体での討議がスムーズにできるようにする。 <評価基準> (聞く) A:話をまとまりごとに要点を考えメモをとる。 B:話を聞きながらメモをとることができる。 C:話を聞いてメモをとることができない。 ・単発的な質疑応答にならないように、自分の意見に理由付けをさせ、考えを深めることができるようにする。 <評価基準> (話す) A:調べたことをもとにして、自分の立場や意図をはっきりさせて話すことができる。 B:調べたことをもとにして、自分の意見を話すことができる。 C:自分の意見を話すことが難しい。 ・話し合いがテーマから離れそうになった場合は、中断し全体でテーマの確認を行う。 ・対立する側の意見や、聴衆役児童からの意見で納得できる部分を取り入れるように助言し、自分たちの考えをまとめることができるようにする。 ・自分なりの考えを深めていくために、話し合いの要点をもとに振り返らせ、考えをまとめることができるようにする。	・司会の進行カード ・OHC付プロジェクター ・スクリーン ・児童発表資料 ・ワークシート
まとめる	3 本時のまとめをする。 ・本時の自己評価をする。	・自己評価をし、討論会への参加の姿勢、自分の考えの変化、考えのまとまりを明らかにさせ、今後につなげる。	・自己評価シート